

正智深谷高等学校特別コラム

Mind Charging

Since 2020

第338回

山崎育三郎

の名言

発行：入試広報室

発行日：令和5年1月25日

編集委員：入試広報室 鈴木

今回の言葉

諦めなかったのは、 好きだから。



山崎 育三郎は、日本のミュージカル俳優、俳優、歌手、司会者である。東京都出身。東邦音楽大学附属東邦高等学校声楽科卒業、東京音楽大学声楽演奏家コース中退。研音所属。StarS、IMYのメンバー。妻は元モーニング娘。の初期メンバーで、歌手・タレントの安倍なつみ。義妹は安倍麻美。愛称はいっくん。

Column

今回の言葉を紹介しようと思った理由は、夢や目標を達成した人に成功の秘訣や諦めそうになった時にどのように自分を保ったのかという質問をすると『なんだかね、』『結局はさ、』から始まって高確率で返ってくる答えだったからです。最近ではスポーツの世界に限らずですが『モチベーション』という言葉がよく使われています。モチベーションとはみなさんもよく理解しているように“動機づけ”を意味する言葉です。動機とは人が何らかのアクションを起こす際の要因となるものを指します。日本語的には“意欲”や“やる気”と同様の意味で使用されています。やはり人間にとって大切なのは“心”なのだと改めて痛感させられます。

人生を歩んでいく中で様々な岐路に立たされ“真価を問われる”という瞬間をみなさんも経験したことがあると思いますが、そんな瞬間をクリアするために身につけたはずの知識やテクニックがうまく機能しなかったことはありませんか？『絶対にやってやる！』という気持ちと『自分にできるだろうか…』という気持ちとの戦いの中で達成できた目標とできなかった目標があると思います。スポーツの指導者をしている私は『覚悟』という言葉 これまでの指導の中で数え切れないほど使ってきました。何度も使うほど必要なことであり、何度覚悟を決めてもなかなかやりきれない本当に難しいことです。でも、実感している人も多いとは思いますが、難しくしているのは他の誰でもない“自分”なのです。

好きという気持ちは人間の持つ力の中でもかなり大きく強いものだと思います。なぜならポジティブだからです。今回の言葉のように諦めず挑戦し続けるためには何よりもポジティブな心が必要です。自分が好きなことを簡単に諦めるなんてできません。自分のことが好きならなおさらです。もっと自分に期待して自分のことを好きになれるといいのになと思う人が私の周りにはたくさんいます。私の中で“この人の生き方は好きだな”と思う人は自分に期待して自分を愛しているポジティブな人です。挑戦することも挑戦する自分自身も好きになっていきましょう！そんな仲間が溢れる正智深谷高校であってほしいと心から願っています！